あおばだより

Vol.4

地域一番のかかりつけ薬局を目指して

あおば薬局

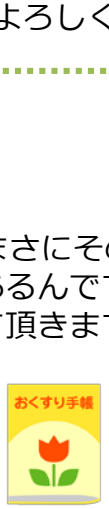
オープン２周年記念号☆

あおば薬局もオープンして２年経ちました。薬局スタッフの顔も覚えて頂き、駅前を歩いていると声を掛けて頂く事が増え、嬉しく思っています（*^_^*）
これからも地域の皆様に支えて頂きながら、ますます頑張ってまいりますので、よろしくお願い致します！

医療費改訂のお話

お気づきでしたか？
４月１日から処方せんの形式が変わりました。
２年毎に医療費の改訂があり、2012年4月はまさにその年です。
患者様から見ても、目に見えて分かる部分もあるんですよ！
今回はお薬手帳とジェネリックのお話をさせて頂きます。

お薬手帳が基本料金に含まれました！



患者様全員にお薬手帳をお持ち頂くためです。
そんな、お薬手帳の活用方法とは･・・？
お薬手帳は処方せんの内容などを薬局で記載しています。もっと効果的に活用するためには、患者様に日頃の体調や病状などを書き込んでいただき、その様々な情報を共有することが、治療や副作用防止に繋がるのです。
年に１～２度しか医療機関にかからない方でも、お薬手帳と保険証を一緒に保管しておくと大変便利です。
例えば、昨年、風邪を引いたときに飲んだ薬で発疹が出た場合、「何の薬を飲んだせいだったかな？」というときにも、お薬手帳があればすぐに分かります。市販薬を買う時も便利ですね！

医療費削減のためジェネリック！

近年、国民医療費の増大が大きな問題となっていますが、そのうち約２０％は薬剤費が占めています。ジェネリック医薬品は、国民医療費全体を節約できるため、国は積極的にジェネリック医薬品を後押ししています。そもそも国民医療費のおおもとは患者さんの税金や保険料からまかなわれていますので、結局は患者さん自身の負担軽減につながると考えることができます。窓口負担がない方でも関わっているという事ですね。

そのため、処方せん形式が変わり個々の医薬品ごとに変更可能かどうか決められるようになりました。

そもそもジェネリックって？

新しく開発された薬を「先発医薬品」、先発医薬品と同じ有効成分を使って同じ効き目、安全性となるように作られた薬を「ジェネリック医薬品」といいます。先発医薬品をもとに作られるので開発費を抑えられ、ジェネリックの方が安くなるという訳です。

本当に同じなの？安心して使える？

ジェネリックを開発する時に、同じでなければいけないところが決められています。有効成分、有効成分の量、効き目、安全性です。
また、違いが認められているところは色、形、添加剤です。
この違いを利用して、先発医薬品よりも改良したお薬（錠剤の小型化・　味、におい、色を改良など）を作ることが出来ます。

添加剤とは、先発医薬品、ジェネリック医薬品に関係なく、有効成分を「お薬」として使えるようにするために加えられている物質です。
添加剤を加える事で、胃や腸で溶けるように調節されていたり、味を良く飲みやすくしたりしています。

花粉シーズン到来！！

今年も花粉症の季節になりましたね↓
花粉症対策のマスクの選び方として、カーゼより不織布、平型よりも立体型が花粉を通さないと言われています。
超立体マスク　４３０円